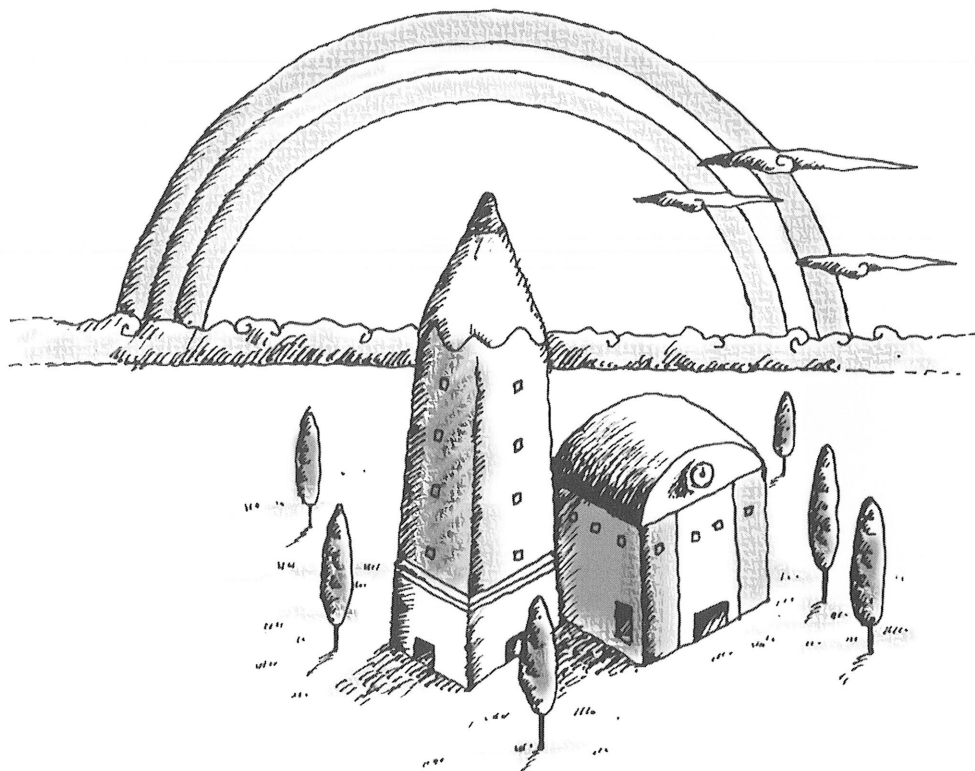


道 教 組

▶ DOKYOSO NEWS vol.511



道教組第29回定期大会を開催

川村安浩執行委員長あいさつ

道教組定期大会の討論

3～5月の重要課題について

共済 教職生活のスタートを切ったあなたにおすすめ

わたしのとっておき

道教組第29回定期大会を開催

3月12日～13日、札幌市内において道教組第29回定期大会が開催されました。挨拶に立った川村執行委員長は、東日本大震災、原発神話、戦争法強行採決、道教組のとりくみ、教職員の責務等にふれ報告しました。また、全教の土方書記次長、道高教組の國田執行委員長、道労連の出口事務局長、全教自動車保険代理店の川上企画社長はじめ、ご来賓からごあいさつをいただきました。

榎木書記長からは2015年度運動総括、2016年度方針案、新保副委員長から中間決算、予算案、再任用組合員の臨時闘争費・専従補償費徴収等の提案がありました。

2日間の討論では26本の発言があり、職場や地域で苦勞しながらも実践や職場づくり、組合員のつながりの大切さ、組織拡大のとりくみ等について討論がありました。

提案された議案は全会一致で可決され、道教組の新役員も選出されました。

川村 安浩 執行委員長あいさつ (要旨)



昨日は3月11日、あの「3・11」から5年がたちました。命を奪われ、今なお行方不明である方は、合わせて18,456人にのぼります。

大地震、大津波と共に忘れてはならないのは、「福島第一原発事故」です。

10万人を超える方々が住み慣れた土地を離れざるを得ず、いつ帰れるのか分からない生活を送っています。また、この事故による放射能汚染は、今も日本中の人たちに大きな影響を与えています。

そして、昨年夏には、「戦後70年」という節目がやってきました。「戦争法案」の可決成立です。「戦争はしない」と誓った国が「戦争もするぞ」と公言する国に変わったのです。

一方、戦争法案成立阻止の動きも、かつてない規模で広がりました。これも「大きな転換点」でした。

私たち教職員の責務は「子どもたちの今を守り、明るい未来を手渡すこと」です。その責務を十分果たすには厳しい状況が続いています。

戦争法の成立は、子どもたちの未来に暗い影を落としています。断じて許すことのできない戦争法の中身はもちろん、立憲主義さえ踏みにじった成立過程や独裁的なにおさえ感じさせる言動の数々。安倍政治そのものが平和と民主主義破壊以外の何物でもありません。私たちが子どもたちに手渡す未来が明るいものであるには、平和と民主主義が実現される社会が基盤になければなりません。

子どもたちが「今」を過ごす学校はどうなっているでしょう。今、学校は「押し付け」と「画一性」で覆い尽くされんばかりです。「日の丸・君が代」の押し付けは言うに及ばず、学びの内容は「全国学力テスト」で画一化し押し付けられています。子どもたちの心のありようは「道徳の教科化」で、子どもたちを守るとりどころとなる教職員の教育観は「人事評価制度」で画一的に押し付けられようとしています。そしてそれは、「スタンダード」を「ゼロトランス」で「オール」とか「チーム」という言葉で包みこみながら、教育現場に「画一的な押し付け」を是とするようなスタイルで忍び込んできています。

この1年間の全道の道教組組合員の奮闘に敬意を表するとともに、活発な討論が行われ、これから1年間の道教組運動のたしかで豊かな方針を確立していただくことをお願いします。

道教組定期大会の討論



齋藤 鉄也代議員
(全釧路教組)

全釧路教組の定期大会は去年まで代議員制でした。しかし、今年は総会制にかえたので、33名が参加し、これまでと違うメンバーが集まり、組合員どうしのつながりを感じる定期大会になりました。

全釧路教組は、この1年間、戦争法案阻止のたかいで頑張りました。これまであまり目立たなかった先生方が主体的にマイクを握り、自分の言葉で発言してくれたので、ものすごく感動しました。

教育全国署名のとりくみは、私が各支部のとりくみ内容を支部長に聞き、その内容をニュースで組合員に伝え、激励し、釧路の署名目標をやりきることができました。



上田健一郎代議員
(網走教組)

初めての定期大会参加です。網走教組の大会で一番話題になったのが学力向上問題です。学校現場が子どもの成長をないがしろにし、上から一方的に教育内容に干渉しています。その具体例がチャレンジテストです。子どもたちから「先生もういやだよ」と嫌気をさすような声が聞かれます。入試問題にまでチャレンジテストのような問題が出る状況です。

網走教組は、昨年5回の「まなびバ」を開催。全釧路教組からも参加があるなど、横の広がりも出ています。参加者みんながレポートを持ち寄り、熱気を持った学習会になっています。

合宿研では、道徳教育でこれからどうなるのだろうか、という学習もしました。

戦争法反対のとりくみでは、机上に「子どもた

ちに明るい未来を」と書いたミニカードを置いてアピールしています。



越前 秀一代議員
(檜山教組)

教職員の健康と安全を守るために、職場全体でとりくんでいます。その内容は、①ノー会議&17時30分完全退勤デーを月2回実施。②年休20日間使い切ろう。③会議の終了時刻をはっきり決める。④毎月職員のストレスチェックを実施するなどです。

実施してみたの感想は、「実践してみるとありがたいものだと感じた」「遠慮なく帰れるようになった」「年休がとりやすくなった」。教頭は「月2回の17時30分完全退勤の日は18時に帰れるようになった」などです。この実践が多くの学校に広がることを期待しています。



長畑幸太郎代議員
(宗谷教組)

昨年11月開催の「全国教職員学習交流集会 in 青森」に参加した太田千恵さん(猿払村拓心中)の感想を私(長畑)が代読して報告します。

青森で5年前まで講師をしていたので、この集会に参加しました。基礎講座「採用試験対策講座『虎の穴』を体験してみよう」は、組合員限定で行っています。過去問を分析し、実技試験対策も充実しています。組合から補助があり、参加者は0円で参加できるのです。次に参加した基礎講座「特別なニーズのある子の支援について」です。特別支援の子は、外との関係の薄い子が多く、ゲーム依存が増えています。外との関係づくりが大事だと思いました。家庭との連絡帳で、「うれしかったこと、子どもができたこと」を丁寧に伝えることが大切

だと思いました。



西野 誠代議員
(上川教組)

再任用の臨時闘争費等の徴収については、道教組の財政が大変なのは分かりますから、集めざるを得ないと思います。

戦後70年、平和憲法の下、47教基法が平和を大事にし、その国をつくる主権者を育ててきました。そういう歴史に2006年教育基本法の改悪から一気に逆流の制度がおろされ、経済の貧困と相まって、子ども世界・学校世界に幸福を追求し、教育を守ろうとする人を徹底的に痛めつめようとしています。

これから5年間年金が出なくなります。退職しても楽園のような生活ではありません。今度、私が行くために、その学校の若い期限付の先生（3年間勤務）が退職せざるを得なくなったのです。その先生に「受験頑張って。僕も負けないように仕事をするから」と言うしかありませんでした。一喜一憂しないで共に頑張りましょう。

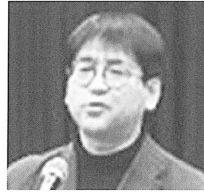


平山 純代議員
(後志連絡会)

後志には臨採の方が2名いて、次年度の職場が決まり良かったです。他管に異動が決まった方は、引き続き組合にお世話になりたいと言っています。臨採の方はそれぞれ苦労があります。校長からのパワハラ気味の言動、事務職にとって本務外のクラブ活動、通級学級の仕事で苦情を言われるなどです。連絡会として、これらの問題でいろいろアドバイスしていますし、書記局も参加してサポートがあります。

人事評価制度の問題で校長室へ行き、その問題で話し合うことができました。校長は「伝達講習があったが、どう伝えるか難しい。職員との溝が深くなり、現場の足を引っ張る事になる」と言いました。私は「学校というのは結局チームプレーなん

です。差別・選別せず、一人ひとりが力を発揮できるように考えているということを校長から伝えて下さい」と言いました。校長は「そうだな」ということでした。みんなの共同でやっていきましょう。



田中 豊一代議員
(障教部部長)

3点に絞って発言します。最初は組合員拡大のことで、5年越しでアプローチしていた臨時の先生に加入していただきました。5年間、合研、障害児教育フォーラムなど誘ったすべての学習会に来てくれました。加入した理由は、主体的に学べる学習会がとても良かったからだそうです。

2番目は、障教部アンケートを集約し、要求書づくりに活用できたことです。その要求書で道教委交渉もできました。

3番目は、来年1月に障害児学級・学校学習交流集会在北海道で開催されます。500人を目標に半分は北海道で組織します。通常学級の先生にも参加してもらえるように分科会も用意しますので、ぜひ、みなさん集まってください。



中里 明雄代議員
(全胆振教組)

4月に加入した中里と申します。教文活動に絡めて発言します。加入を心の中で決めたのは、今年の秋です。戦争法案が通り「戦前だなあ」と思いました。

登別で教務主任を1年しましたが、一人でたたかうのには限界がありました。初任の先生が鬱になり、職場のために力になりたいと思っていました。

自分に子どもが生まれ、目の前の子どもたちも戦争に巻き込まれるかもしれない。そのため、街頭宣伝にも参加し、地域で「ジュリストカフェ」と銘打って学習会も行っています。全教いぶりのあたたかさ、懐の深さも感じていました。そんなとき、S先生から声をかけられ加入したのです。

今後、民間教育と組合をつなげる活動をしていきたいと思っています。



樋口 雅子代議員
(養教部部長)

「フッ化物洗口」が、全道的にどんどん広がっています。「フッ化物洗口」の問題点や効果については説明があまりなく、当たり前のように上からおりてきます。

全教では、子どもたちにも有効なのか、教職員の共通理解ができているのか、学校で実施可能か、そのことが保護者の希望にそ

っているのかどうかなど、考えてほしいとなっています。ぜひみなさんの学校でも、養護教諭と話し合い、職員会議で管理職・教職員とも話し合ってください。私は、本来必要ではないと考えています。

100人以上の小中併置校に、今は特配として養教が2名配置されています。昨年8月、道教委に署名を提出し、養教の配置問題で話し合いをしました。養教部として、ぜひ、特配ではなく正規の定数で配置してほしいとの要求です。

今年度で退職することになりますが、再任用として何かできることはないかと考えています。

執行部のまとめ

梶木 康展 (道教組書記長)



討論の特徴は、日頃子どもたちと向き合い、寄り添っている教育実践の悩みなど、包み隠さず語ってくれたことです。チャレンジテストについては、当初道教委はお付き合い程度に使ってもらえればと言っていました。ところが今では「チャレンジテストに参加しなければ加配をはがす」と脅しをかけ、やらない学校には包囲網をかけてきました。そのため、みなさんから悩みが語られていました。

「学校の学びって何だ」ということを大切に、上からの圧力と同調するのではなく、抗うことも組合として大事なことです。

また、教職員の超過勤務の改善(月2回の17時30分完全退勤)、年休行使の推進(20日間)など、学校ぐるみの実践が語られ、わたしたちの働き方を見直すきっかけづくりになり、参考になりました。

組織拡大についての発言がいつもより多く、拡大にすぐ結び付かなくても「声かけ、働きかけ」が、後に加入へと結び付くことが語られました。職場で困っている人がいれば、組合員でなくても

心を寄せて支援することが道教組の特長です。

来年の1月、札幌で「全国障がい児学級・学校学習交流集会」が開催されます。この集会を契機に、組織拡大でも成功させたい。障教部だけでなく、単組・連絡会も成功に向け努力していただきたい。

教職員組合って何だ。教育実践を大事にすること、困っている教職員のために支援すること、平和の問題でしっかりと取り組むこと、それぞれ重要な組合活動の柱です。そんな組合活動の柱を確認できた大会でした。

選出された2016年度道教組役員

役職	氏名	所属
執行委員長	川村 安浩	空 知
	新保 裕	道 教 組
	古川 晃男	全 釧 路
執行副委員長	内藤 修司(新)	宗 谷
	梶木 康展	網 走
書記長	安里 朗(新)	檜 山
	斎藤 鉄也(新)	全 釧 路
執行委員	中山 裕一	根 室
	茶森 茂樹	檜 山
監査委員	秋山みゆき	全石狩札幌
	白鳥 克己	全 胆 振
	中村 賢明	上 川

3～5月の重要課題について

1 「学校職員人事評価制度」を学習し、協力・協働の学校づくりの観点で職場の合意を広げよう

これまででもとりくんできた、春の「職場要求書」を用いた校長・教頭との話し合いを重視します。

4月から始まる「学校職員人事評価制度」の学習をすすめ、制度の問題点を把握するとともに、「教育とは何か」「どんな学校づくりをめざすのか」について具体的事例を交流しながらイメージし、道教組が大切にしている「協力・協働の学校づくり」を前進させる契機にしましょう。職場での制度説明会等の機会をやり過ごすことなく、職場での話し合いを最大限いかしましょう。4月前半までには「要求書」についての支部・分会討議をし、4月末までには学校長に「要求書」を提出し、話し合いましょう。

教育活動は教職員の集団の営みで成り立っています。個々人を評価し、給料や処遇に差をつける差別賃金・人事管理の基礎となる「学校職員人事評価制度」の意図をストレートに学校に持ち込ませないことが、子どもたちの教育を守り、私たちの教育活動を豊かにすることにつながります。

2 安保関連法（戦争法）の廃止、立憲主義・民主主義の回復を求めよう

総がかり行動実行委員会のよびかけによる「2000万署名」を1人10筆必ずやりきましょう！余力のある人はさらに上積みをめざし、4月末までにやり切ります。各単組・連絡会の残目標をあきらかにしてとりくみましょう。

3 憲法改悪の策動に反対し、憲法を守りいかすとりくみを職場・地域で広げよう

安倍総理は、在任中の明文改憲に意欲を示しています。「自民党憲法改正草案」をもとに、改憲に意欲的な政党を取り込み、夏の参院選にむけた動きを強めています。教育が戦争推進の道具にさせられてきた過去に学び、教え子を再び戦場に送らないよう、憲法学習を職場・地域でとりくみ、学びと運動を広げましょう。また、夏の参院選に

むけて情勢学習を強化し、私たち自身の主権者意識を高めていきましょう。

4 春の組織拡大・強化（組合・共済）で大きく前進しよう

全教「組織建設3か年計画」の2年目に入りました。5年後の組織状況を思い浮かべ、次世代へバトンを渡すことに本気でとりくむことが求められます。全国のとりくみに学び、連帯しながら、今年も「現勢を早期に回復し、増勢をめざす」ため、「支部・分会レベルでの計画と目標をもつ」よう努力しましょう。

3月～5月は「全教 春の集中月間」、道教組は2月～5月までを「春の組織拡大・強化集中月間（めぶく）」とし、年間拡大数の60%をめざします。道教組は3～5月で、対話700名、拡大50名を目標（「総合共済」も50名を目標）に、若い世代だけでなく、ベテラン世代も積極的な対話を行いましょう。声かけは「できる人がやればいい」ではなく、組合員みんながとりくむことが重要です。パワハラなどの相談活動も組合活動の重要な柱です。

<年間とりくみイメージ>

【集中月間①】2～5月を「春の組織拡大・強化集中月間（めぶく）」とし、年間拡大数の60%をめざします。

【集中月間②】6～8月を「夏の組織拡大・強化集中月間（はじける）」とし、再度声かけを推進します。

【集中月間③】10～11月を「秋の組織拡大・強化集中月間（かりとる）」とし、声かけした同僚とのつながりを確かめ合い、積極的に加入を訴えます。

【集中月間④】12～1月を「冬の組織拡大・強化集中月間（あたためる）」とし、身も心も温かくなるとりくみをすすめます。

5月までに対話700人、拡大50人を！

全教共済

採用おめでとう！ 教職生活のスタートを切ったあなたにおすすめ！

「スタートセット」&「ビッグスリー」

全教共済は、全日本教職員組合（全教）が「相互扶助」を目的に運営する自主共済です。安い掛金で安心を届け、教職生活をスタートしたみなさんをしっかりサポートします。

この掛金でこれだけの給付があるのは、全教共済だからだよ！



25歳までなら

月額 **2,205円**

40歳までなら

月額 **2,655円**

申込締切 6月30日

スタートセット（コーゴ・コース） 生命・医療・傷害共済 各5口で

入院	1日 5,000円 <small>（ガン入院1日1万円）</small>	ケガ 通院	一律 7,500円 <small>（通院4日以内）</small> 最高 7万5,000円 <small>（通院5日以上）</small>
手術	最高 25万円 <small>（手術の種類に応じて）</small>	死亡	501.5万円 <small>（交通事故死亡 751.5万円）</small>
先進医療 治療	2,000万円まで <small>（年間通算）</small> + 諸費用最高 40万円	後遺障害 <small>（1級～14級）</small>	最高 250万円

全教共済「ビッグスリー」 （教職員賠償責任共済＋くらしの賠償責任共済＋総合共済）で

● 教育業務中も日常生活での損害賠償請求にも万全な備え

たとえば 教育業務中の賠償請求では 最高 5,000万円 や、初期対応費用 最高 100万円

● さらに総合共済では

結婚……………1万円 出産…………… 5,000円

結婚記念日……………2万円 自然災害……………最高10万円

（結婚満15年、25年、35年、加入後いづれか1個） 火災見舞金



● しかも、退職時には **600円×加入月数分**の掛金全額が戻ります！*

*掛金返金は総合共済の掛金部分だけです。



詳しくは全教共済「春募集」パンフをご覧ください

教職員におすすめの 全教共済!!

「総合共済」加入者より

◆非常にありがたい、うれしい給付です。感謝の気持ちでいっぱいです。このようなことを知らない人がいるのであれば、もっと多くの人に知って頂きたいと思います。

◆就職してすぐに加入し、結婚、出産とお祝いを頂き、今回は結婚15周年のお祝いも頂きました。本当に喜びあって、損なしのすばらしい共済だと思います。次は退職時に掛け金が戻ってくるのを楽しみに定年まで頑張ります。

編集後記

日本・中国・韓国の共同編集「未来をひらく歴史」（高文研）を愛読書にしています。この3国は、戦後70年を経ても3国の近現代史で異なる評価があるからです。東アジアの「和解と共生」をすすめるためのとりくみとして、日・中・韓の学者・教師・市民が3年間の準備作業中、お互いの異なる多くの意見を乗り越え、対話と討論を通じて歴史意識を共有できるとこまでできました。そし

て、この3国で2005年に同時出版されたのです。私たちが学校で使う教科書や日本の歴史関係本には書かれていなかった本当の歴史を学ぶことができ、秀逸の近現代歴史本といえます。将来、政府レベルで日・中・韓の近現代史を共有できるようになれば、本当に平和で明るい未来が見えてきます。ぜひ、多くの教職員がこの本に関心を持ち、教育実践の糧にさせていただけたらと思います。（新保）

わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



「この木は何の木でしょう？」

正解はブナです。勤務校の黒松内町はブナの木
の北限です。学校の敷地内にあるこのブナの
木は、いつも児童・生徒、教職員、学園施設の職
員や地域の方々を見守ってくれています。

【能代 岳(余市養護学校しりべし学園分校)】



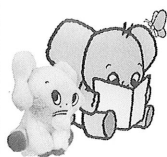
「桜色の羊蹄山」

毎日違う顔を見せてくれる私の好きな羊蹄山の
顔の一つです。もう一つ、なかなか見る事が出来
ないのですが、うっすら青紫色に、夜に浮かび上
がる羊蹄山。夕方からの羊蹄山の顔、私のとっ
ておきです。

【Aさん(後志連絡会)】

全教自動車保険

「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント！
加入するとドライブレコーダーも当たるかも！



小納谷部長
(川上企画)



春が近いです！
自転車、歩行者との
事故が多くなりますので、
前後、左右を
十分確認して
進行しましょう。

提携 東京海上日動火災
保険株式会社

全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の
共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

道教組

2016年4月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>